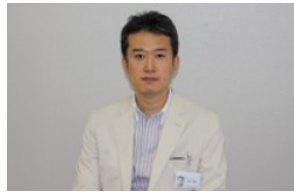


農学部 赤壁善彦准教授がさわやかな香りの鮎の養殖に成功

[TOP](#) > [トピックス](#) > [農学部 赤壁善彦准教授がさわやかな香りの鮎の養殖に成功](#)

掲載日: 2011/07/21



農学部 赤壁善彦 准教授

本学農学部赤壁善彦准教授が、榎野川漁業協同組合と共同で、さわやかな香りの鮎の養殖に成功しました。

赤壁准教授は、香りの研究を専門としており、昨年度、山口県食品開発推進協議会が、山口県産の柑きつを使用し、香り高いジュレ状のポン酢「かほりのジュレポン」を開発した際、香りの抽出、分析、評価に携わりました。また、従来から、榎野川漁業協同組合の協力のもと、鮎の香りの違いの分析も行っており、漁協からの、最近の川魚離れを食い止めたいとの要望を受け、鮎のブランド化を検討してきました。

山口県は、古くからかんきつ類の産地で、オリジナルブランドの柑きつ類も多種生産されていますが、これらがジュースなどに利用された後、果皮が余って産業廃棄物になるという問題を抱えています。

そこで、赤壁准教授は、この皮の有効利用を考え、みかんの果皮からの抽出物を餌に混ぜて鮎に食べさせたと、さわやかな柑きつの香りがする鮎の養殖に成功しました。赤壁准教授によると、身はほんのりと柑きつの香りがしてさっぱりしており、内臓もまったく苦味がないとのこと。

7月20日(水)には、市内の料理人らを招いて、湯田温泉のホテルで試食会も開かれ、参加者からは、「劇的に風味が違う」「とてもおいしいのでぜひ料理に使いたい」と好評を得ました。

来年度は、この鮎を山口県のブランド商品として売り出す予定です。



試食会の様子

総合トップ
山口大学 目的別ポータル
大学紹介
学部・大学院
教育・学生生活
研究・産学連携
国際・社会連携 外部リンク
留学生 外部リンク
入試関連情報 外部リンク
就職情報 外部リンク
採用情報
イベントカレンダー
ニュース&メディア掲載
図書館・附属施設等
情報公開

ナビゲーションメニュー

総合トップ
 大学紹介
 学部・大学院
 教育・学生生活
 国際・社会連携
 留学生
 入試関連情報
 就職情報
 採用情報
 図書館・附属施設等
 研究・産学連携
 情報公開

お知らせ・イベント等

重要なお知らせ
 トピックス
 WEEKLY NEWS
 イベントカレンダー
 ニュース&メディア掲載

利用者別メニュー

受験生の皆様へ
 在学生の皆様へ
 卒業生の皆様へ
 企業の皆様へ
 一般・地域の皆様へ
 附属学校
 山口大学医学部附属病院
 山口大学動物医療センター

© Copyright2004-2010 YAMAGUCHI UNIVERSITY All rights reserved.

ショートカットメニュー

サイトマップ
 交通アクセス
 キャンパスマップ
 お問い合わせ
 関連リンク
[教職員専用](#)
 ENGLISH(英語版サイト)

サイトポリシー

このサイトについて
 個人情報保護方針